

除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ
68416 系統（食品）に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えダイズ「除草剤アリルオキシアルカノエート系及びグルホシネート耐性ダイズ 68416 系統（以下「ダイズ 68416 系統」という。）」については、平成 25 年 5 月 10 日付けで遺伝子組換え食品の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

ダイズ 68416 系統は、アリルオキシアルカノエート系除草剤及び除草剤グルホシネートに対する耐性を付与するために、改変 *aad-12* 遺伝子及び改変 *pat* 遺伝子を導入したものである。

改変 *aad-12* 遺伝子の供与体は、グラム陰性桿菌である *Delftia acidovorans* MC1 株であり、改変 *aad-12* 遺伝子によって産生される改変 AAD-12 タンパク質は、アリルオキシアルカノエート系除草剤を除草活性のない化合物に変換することで、アリルオキシアルカノエート系除草剤に対する耐性が付与される。

改変 *pat* 遺伝子の供与体は、グラム陽性放線菌である *Streptomyces viridochromogenes* であり、改変 *pat* 遺伝子によって産生される PAT タンパク質は、グルホシネートを除草活性のない化合物に変換することで、除草剤グルホシネートに対する耐性が付与される。

3. 利用目的及び利用方法

ダイズ 68416 系統の食品としての利用目的や利用方法は、従来のダイズと相違はない。

4. 諸外国における申請等

申請国	申請・確認年月	申請先
米国	2011 年 11 月確認終了	米国食品医薬品局（FDA）
オーストラリア/ ニュージーランド	2011 年 11 月確認終了	オーストラリア・ニュージーランド食品基準局（FSANZ）
カナダ	2012 年 10 月確認終了	カナダ保健省（HC）